

兵庫ジャーナル1867号
9月27日掲載

市町建設 事業担当職員 の疑問を解消！

まちづくり
技術センター

小野市
役所で

「オーダーマイド型研修会」

(公財) 県まちづくり

いる。

住民ニーズが複雑かつ

多様化する中、同職員に

は地域の実情に応じた積

技術センターでは、豊富

な経験と優れた見識を持

つ県土木技術職OBから

なる「ひょうご土木技術

マイスター」が講師とな

って、市町の建設事業担

当職員が日頃抱く業務上

の悩みや疑問に答える出

前講座「市町オーダーマ



少人数の車座で日頃の疑問を
マイスターに質す小野市職員

極的な創意工夫がこ
れまで以上に求めら
れ、こうした人材の
確保と育成が重要な
ものとなっていると
いう。

同研修は今年度、
8月に赤穂市で実施
したほか、今年14日
には小野市で昨年度

に続き実施。コロナ禍の
中、少人数の座談会形式
で、現場監督時のチェッ
クポイントなどについて
市職員に指導を行った。

小野市総務部の上田正
朗工事検査監は、「講師
の言葉は経験に裏付けさ
れた忌憚のない内容で、
明日からでも使えるテク
ニックも習得できた。早
速、生かしていきたい」
と話していた。

ひょうご土木技術マイ
スターの藤田宣久氏は、
「研修で職員が必要なス
キルを習得し、技術力の
向上につながることを期
待する」とコメント。主
催する兵庫県まちづくり
技術センターも「市町の
意向にきめ細かく対応で
きる研修。ぜひ、他の市
町でもご活用いただけれ
ば」と呼びかけている。